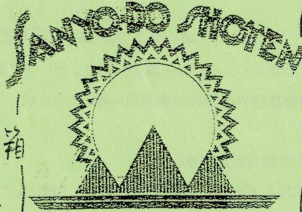


4月の書籍ベスト5 — **山陽堂だより 106**

2018年5月 臈月

- ① モンテレイゴ  
小沢村の旅する本屋の物語  
内田洋子著 方丈社
- ② 素直の、西郷隆盛  
石敢道人著 新潮新書
- ③ T=しみみについて  
日州正子著 河出文庫
- ④ 星空の谷川俊太郎質問箱  
谷川俊太郎著 白河日
- ⑤ すりぞい、わいにくらゝ  
渡辺有寿著 PHP文庫



山陽堂書店  
03-3401-1358

- 4月の雑誌記事ベスト5
- ① SPUR 5月号  
初夏の最強ワード「F」
  - ② GINZA 5月号  
WHAT IS INTELLIGENCE
  - ③ 家庭画報 5月号  
理想の豪邸 再見
  - ④ BRUTUS 5月号  
101 THINGS TO DO IN SEOUL
  - ④ 婦画報 5月号 東京案内
  - ⑤ POPEYE 5月号 ニュースプロファイル

5月休業日  
お知ろせ  
5/12 (土)・日・祝

今月のことほ  
「論石皮禁止」高橋源部  
明治学院大学高橋源部  
方針は何かと問われ、作家は  
こゝろ答へた。「誰か論破  
しようとしている時の人間の顔は  
自分の正しさに向き合っ  
てみて、すくく卑しい感じ  
がするから」と。対話は、  
やわとつじろ、各人が自分  
超えることを希ってなされる。  
相手のレスポンス(敬意)と  
自己のレスポンス(敬意)か  
なければ成り立たない。  
1月15日のタビタから、  
2018.2.19 鷺田清一郎  
山陽堂だより

5月25日(金)  
13時より  
青山善光寺本堂  
11-2  
青山地区  
「戦没者追悼会」  
法要が行われます。

今から73年前のこの日、  
青山一帯も爆撃に晒  
焼け野原となり、たくさんの人々が  
亡くなりました。青山善光寺では毎年かかる  
ことなく法要が行われています。

◆2018年5月15日(火) - 28日(月) 日休

「昔の青山・表参道周辺と山陽堂書店」

2年後に東京オリンピックをひかえ、ここ数年青山周辺では再開発が進んでいます。戦前から続いていたご近所のお店も数軒青山から姿を消していきました。山陽堂書店も1964年のオリンピックの時に青山通り拡幅のため建物を三分の一に削り、6.5坪の小さな本屋になりました。現在の山陽堂は昭和6年(1931)の87年前の建物が土台となっています。昭和35年生まれの際は、3歳ぐらいまで削られる前の建物が育ちました。当時の青山は、「ごめんください。」とご近所のおばちゃんやおばあちゃんを訪ねるといっしょに遊んでくれるところでした。幼い私は目を離すとすぐにどこかに行ってしまうので、母は迷子札を作り、私の首にかけていたといえます。その頃の青山・表参道は、このようなのどかな街だったのです。

そんなのどかさが残る青山・表参道周辺の写真を展示いたします。みなさまのお越しをお待ちしております。

◆2018年5月31日(木) - 6月12日(火) 日・祝休

『珈琲屋』(新潮社5月31日発売)刊行記念写真展

「珈琲屋 大坊さんと森光さんと」

5月の喫茶営業日  
5/14(月) 13時~19時  
5/21(月) " "  
5/24(木) " "  
5/28(月) " "

○5月のLIVE版・山陽堂だより②  
【開催日】 5月11日(金) 19時半~20時半(開場 19時)  
参加費: 1,000円(飲みもの・おつまみ付き)  
定員: 20名(事前申込制)  
【内容】

◇「青山に空襲があった -街角の書店から-」 今年95歳になる 清水浜子(3代目店主の美術)が東京大空襲・戦災資料センターの取材を受けた時のインタビュー映像(約25分)をご覧いただけます。

◇あのかたの山陽堂書店 ある時代の山陽堂書店や青山表参道周辺の様子について、当時の写真と共に紹介。今回は1940~1950年の時代を振り返ります。

◇今月のおすすめ 5月のおすすめ本や新刊を紹介致します。

◇三丁目のおまけ 「多過ぎる「あれ」」「ポストイット」「歯ブラシっ!」「おしんこの香り」などなど、北青山三丁目の山陽堂書店で人知れず起きている小事件についてご報告致します。

(※一部変更になる可能性もございます。)

【申込み方法】

件名に「山陽堂だより」、本文内に①氏名 ②予約人数③ご連絡先(電話番号)を明記のうえ、sanyodo1891@gmail.com までご連絡ください。

(※3営業日以内に折返しの連絡がない場合は電話03-3401-1358まで お問い合わせください。)

電話・店頭でもお申し込み頂けます。

○演奏者 雲龍 演奏会のお知らせ

「風の交差点」と題して、

都会の真ん中で、人と人が出会い、神宮の杜の風を受け、新たな未来を育み、演奏者 雲龍としての風が織り成す音世界、

響きの原点から今日まで、また未来に向けて、少しずつ会を重ねて参りたいと思います。

青山で皆様との出会いを大切に、一回一回を大事に行いたいと思います。

四回までは、雲龍の原点から今日までをいろいろな笛とエピソードを交えて行います。

どうぞお問い合わせの上お越し頂けたら幸いです。

(雲龍)

一回目 5月25日(金) 売完いたしました。

二回目 7月6日(金)

三回目 9月20日(木)

四回目 11月9日(金)

(雲龍氏・Profile) 鼓馬山、吉野、富士山ほか、さまざまな「場」で横笛をはじめ土笛、響笛、コアガラスの笛、息吹の笛、ネイティブアメリカン・フルートなど様々な笛を演奏。1997年より細野晴臣 with 環太平洋モノコロイッド・ユニットのメンバーとして活動。NHK土曜ドラマ「ウォーカース」、能村仁監督映画「地球交響曲第六番」虚空の首の章に出演。薬師寺・天武忌法要、比叡山延暦寺根本中堂にて献奏。

平成遷都千三百年記念平城物語「まほろば」インド医療支援コンサート、天河大所財天社 復興音楽祭、出雲大社大違宮奉祝コンサートに参加。神社・仏閣、インド・釈尊の聖地、ネパール、ミャンマー、台湾、韓国、カナダ、米国・グランドキャニオン、ハワイ島、英国・タートムアの聖地 他での演奏を行い活動の場を広げている。演奏にあわせて、平成12年より「陶笛・息吹の笛」の創作活動を始め、各地で「息吹の笛の集い」を行い、一ツ穴、一音の響きの世界を伝えている。○日本アコースティックレコードより『遼那・水のながれが如く』を再リリース

(NARP-8001)